



# 碓東小通信 培根

安中市立碓東小学校

令和4年3月3日

NO.32

文責：峰岸

## 「ありがとう」～感謝の気持ちを！

3月2日の全校朝礼をリモートで行いました。今回は年度末を迎えるにあたり、1年間お世話になった人に感謝の気持ちをもってもらいたいという願いを込めて次のような話をしました。

「ありがとう」という言葉のものは「有り難し」つまり「有ることが難しい=減多にない、珍しい、貴重だ」という意味です。誰かに減多にない珍しい貴重なことをしてもらったときに、「有り難し」つまり「ありがとう」と言っていたそうです。「ありがとう」の反対語は「当たり前」です。何事も「当たり前」と思ってしまったら、「ありがとう」という感謝の言葉はなくなってしまいます。例えば、お家の方にご飯を作ってもらったときにいつも「ありがとう」と言っているでしょうか。そういう人はあまりいないと思います。それはみなさんが家の人にご飯を作っているもらっていることが「当たり前」と思っているからかもしれません。学校でみんなと一緒に勉強ができることは「当たり前」でしょうか？今までは当たり前だと思っていたと思いますが、コロナが流行り、学校が休みになると、学校でみんなと勉強できることは「当たり前」ではなく、「ありがたい」ことだと分かった人もいます。人は知らず知らずのうちに「ありがとう」という気持ちが「当たり前」に変わってしまうことがよくあります。

この1年間、みなさんは多くの人に支えられて生活してきました。それは「当たり前」のことではなく、大変「有り難い」ことなのです。もうすぐ令和3年度が終わります。ぜひ、今年度お世話になった方にたいして「当たり前」と思わずに、「ありがとう」という感謝の気持ちをもって欲しいと思います。まずは家の人に「ありがとう」という言葉が言えるといいですね。学校では担任の先生をはじめ授業を教えてもらった先生、お世話になった先生、地域で交通安全を見守ってくださった方、読み聞かせボランティアの方…まだまだたくさんいると思います。今まで「当たり前」だと思っていたことにも「ありがとう」の感謝の気持ちをもてるようにしましょう。そして、思い残すことがないように感謝の気持ちを言葉や行動にしてくださいね。



## マーブルが天国に行きました

3月1日、うさぎのマーブルが亡くなり天国に行きました。獣医さんに聞くと、マーブルは人間でいうとかなりの高齢で、老衰で亡くなったようです。マーブルも碓東小のみんなにお世話してもらってとてもうれしかったと思います。今までお世話してくれたみなさん、ありがとうございました。



## 感染症対策をお願いします

碓東小でのコロナの状況は落ち着いていますが、まだまだ安心できる状況ではありません。学校では、マスクの着用、手洗い、手指消毒、換気等、感染症対策に細心の注意を払っています。ご家庭での健康観察や検温、同居のご家族に発熱等や風邪症状がみられた場合に登校を控える等のご協力をお願いします。また、マスクの正しい付け方も学校では指導していますが、家庭でも一声かけていただくと助かります。(マスクは不織布のものが推奨されています。) ご家族が検査を受けることになった場合も連絡をお願いします。(休日で職員がいない場合でも、転送されることになっています。)

